令和2年10月24日（土）
宗像国際環境会議
分科会

福岡県の環境行政の取組み

福岡県環境部環境政策課　吉川泰彰

本日の内容

１．福岡県環境総合ビジョンについて

２．事業者・県民・行政の連携について

１．福岡県環境総合ビジョンについて

（第4次福岡県環境総合基本計画）

福岡県総合計画（H29年度からの5年間）

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して

～県民が「元気」「温かみ」「安定」を感じられる施策の推進～

福岡県環境総合ビジョン

環境の将来像

「豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県」
～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～

7つの柱イメージ

6 経済・社会のグリーン化と
グリーンイノベーションの推進

1 低炭素社会の推進

2 循環型社会の推進

3 自然共生社会の推進

4 健康で快適に暮らせる生活環境の形成

5 国際環境協力の推進

7 持続可能な社会を実現するための
地域づくり・人づくり

環境の将来像を実現するために7つの柱を設定し、柱ごとに各種施策を推進していきます！

1 低炭素社会の推進

関連するSDGsゴール

目指す姿

① 省エネルギー型のライフスタイル・ビジネススタイルが浸透し、地域の特性を活かした太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネルギーが活用され、森林の適正管理が進むなど、着実に温室効果ガスの排出削減と吸収源に関する対策（緩和策）が進んだ社会。

② 集中豪雨などの自然災害に備えたインフラ整備や、高温に強い農作物の品種開発・普及などの対策（適応策）が進み、気候変動の影響による被害を回避・軽減し、迅速に回復できる社会。

施策の方向

① 温室効果ガスの排出削減と吸収源対策（緩和策）

② 気候変動の影響への適応（適応策）

重点的に推進するプロジェクトの一例

～未来の地球を守るバイ!～

地球温暖化防止に向け、家庭における二酸化炭素排出量を削減するため、電気やガス、水道、ガソリン使用量などの削減に取り組む家庭を応援する「エコファミリー応援事業」を推進していきます。

2 循環型社会の推進

関連するSDGsゴール

目指す姿

① 県民、事業者等の活動において、製品のライフサイクル全体を通した適正な管理により、資源の消費が抑制され、資源の性質に応じた循環利用が確保されている社会。

② 廃棄物の不法投棄がなく、適正に処理され、県民が快適に暮らせる社会。

施策の方向

① 資源の消費抑制、資源循環利用の推進

② 資源循環利用に関する産業の育成

③ 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減

重点的に推進するプロジェクトの一例

～食品ロスを減らして笑顔を増やそう!～

食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）を削減するために、食べることに問題がない食品を食事に困っている方などへ無償で提供するフードバンク活動等の取組みを推進していきます。

3 自然共生社会の推進

関連するSDGsゴール

目指す姿

① 県民一人ひとりや事業者が生物多様性の重要性を認識し、暮らしの中や事業活動において常に生物多様性に配慮した行動がとられている社会。

② 豊かな自然の保全と社会経済活動が両立し、人と自然が調和・共存することにより成立した里地里山や里海等の地域、文化が保全されるなど、生物多様性の恵みを持続的に享受できる社会。

施策の方向

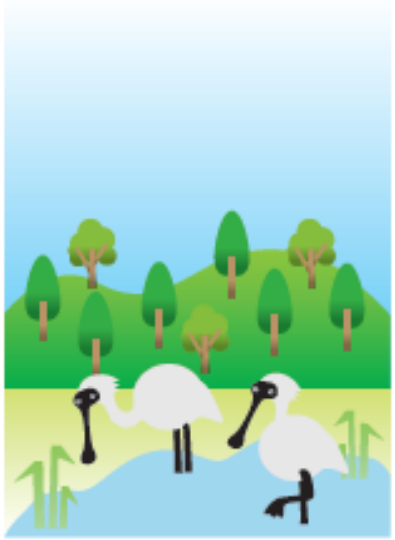
① 生物多様性の保全と自然再生の推進

② 生物多様性の持続可能な利用

重点的に推進するプロジェクトの一例

～英彦山及び犬ヶ岳における生態系の回復と絶滅危惧植物の保護～

生物多様性豊かな英彦山・犬ヶ岳地区に生育するオオヤマレンゲなどの絶滅危惧植物を、増加したシカの食害から保護するため、種子の採取及び保存、種子栽培・移植を実施していきます。また、絶滅危惧植物を含む生態系への被害防止のため、シカの捕獲を進めていきます。



4 健康で快適に暮らせる生活環境の形成

関連するSDGsゴール

目指す姿

① きれいな空気・清らかな水・安全な土壌・静かな居住環境などが守られた、県民が健康で心地よく暮らせる社会。

② 個性豊かで、誇りを持って次の世代に継承することができる美しいまち並みと景観の保全が進んだ社会。

施策の方向

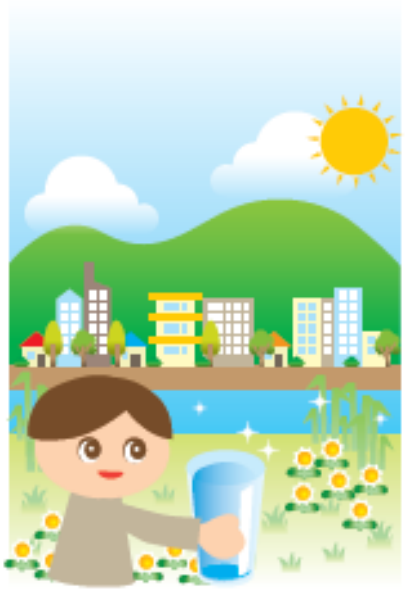
① 統合的な対策
② 大気環境の保全
③ 水環境の保全
④ 土壌環境の保全
⑤ 化学物質等による環境・健康影響対策
⑥ その他の生活環境の保全

重点的に推進するプロジェクトの一例

～安全で快適な生活環境をめざして～

大気や水環境、環境放射線などの環境の状況を常時監視（継続的なモニタリング）し、県民の皆さんに情報提供を行っています。

また、常時監視の結果を活用して、緊急時の対応や環境保全のための施策を実施するとともに、県保健環境研究所が中心となって、大気環境や水環境の保全に役立つ調査・研究を行っています。



5 国際環境協力の推進

関連するSDGsゴール

目指す姿

① アジア諸地域と構築した人的ネットワークや、県内に蓄積された環境技術・ノウハウ等を活用し、アジアの環境問題の改善、持続可能な社会の構築を促進する社会。

② NPOや事業者等の民間における国際環境協力が活性化している社会。

施策の方向

① 環境技術・ノウハウを活用した国際協力の推進

② 民間国際環境協力の促進

重点的に推進するプロジェクトの一例

～アジア諸地域との国際環境協力～

アジア諸地域の環境問題の解決に貢献するため、環境分野における人材育成や技術交流、産業交流などの環境協力を推進していきます。

6 経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進

関連するSDGsゴール

目指す姿

① 事業者が環境配慮型商品・サービスの開発・普及に努め、県民一人ひとりが、環境に配慮した商品を日常的に使用している経済・社会のグリーン化が進んだ社会。

② 環境負荷の低減に寄与する産業が発展し、新たな価値の創出や社会システムの変革などグリーンイノベーションが進んだ社会。

施策の方向

① 経済・社会のグリーン化の推進

② グリーンイノベーションの推進

重点的に推進するプロジェクトの一例

～リサイクルシステムの普及を目指して～

福岡県リサイクル総合研究事業化センターでは、産学官民からなる研究開発により「消火器用消火薬剤からの液体肥料開発」や「醤油粕を原料とした天然ヒト型セラミドの生産技術の確立」など、29件のリサイクル技術・システムを実用化しました。今後も課題解決に取り組んでいきます。

7 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

関連するSDGsゴール

目指す姿

① 県民誰もが環境負荷の少ない行動を実践することで、持続可能な社会を実現している暮らしやすい地域。

② 個々に行われていた環境教育、環境学習等が広がり、地域に根差した環境保全の取組みのネットワークが拡大した社会。

施策の方向

① 地域資源を活かした魅力ある地域づくりの推進

② 環境を考えて行動する人づくりの推進

重点的に推進するプロジェクトの一例

～身近にある様々な体験活動～

自然体験活動などを通じ、子どもたちに環境問題について考える機会を提供する取組みを行っていきます。「こどもエコクラブ」事業では環境学習会を実施します。また、県内6地域においてNPOや自治体等で構成する「地域環境協議会」では、各地域の特性に合わせた環境保全プロジェクトを実施します。

２．事業者・県民・行政の連携について

九州初！

使い捨てプラスチックの使用削減に向けたネットワークを設立

○　プラスチックは安価で使いやすいことから、幅広く使われており、なくてはならないものとして、普及しています。
一方、ポイ捨てなどにより、陸から海洋に流れるプラスチックは、年間約数万トンと推計され、プラスチックを巡る環境問題への対応が世界的課題となっています。

○　福岡県では、使い捨てプラスチックの使用削減等に向けた取組みとして、九州で初めて業界団体、消費者団体、学識経験者、行政等で構成する「ふくおかプラスチック資源循環ネットワーク」を設立しました。

○　本ネットワークでは、取組みの現状・課題についての情報共有を通じ、事業者・県民のさらなる取組みの促進を図ることを目的としています。

ふくおかプラスチック資源循環憲章

　プラスチックは、私たちの生活に幅広く利用され、なくてはならないものとして普及しています。一方、ポイ捨てなどにより捨てられるプラスチックが、海へ流れ込み、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、地球規模で問題となっています。

　福岡県は、九州北部に位置し、筑前海、有明海、豊前海の３つの豊かな海に囲まれていますが、沿岸を中心にプラスチックごみが多く確認されており、海洋ごみの８割は陸域から流れてくるとも言われています。

　福岡県を取り囲む豊かな海を将来に繋いでいくためには、ポイ捨て・不法投棄の撲滅はもとより、県民、事業者、自治体などの幅広い主体が、一つの旗印のもと、プラスチックごみ対策をより一層推進していく必要があります。

　このため、私たちは、プラスチックごみによる環境汚染の実態の正しい理解を深めるとともに、下記の取組みを中心に、できることから一つずつ実践し、プラスチックごみ問題の解決に向けて行動します。

○　ワンウェイプラスチックの使用削減
○　効果的・効率的で持続可能なリサイクルの推進
○　バイオプラスチック等の代替品の適切な利用促進

ゴミ拾いはスポーツだ

スポGOMI

糸島市深江海岸大会 参加チーム大募集！

20組 100名程度（1チーム5名以内）

この秋、スポGOMIに参加して ふるさとの海岸をきれいにしませんか？

皆さんご存知ですか？

福岡県の海岸への漂着物には、河川を通じての流れ込みや
現地でのポイ捨てによるものも多いという事を。
この秋、スポGOMIを通して環境について今一度、考えてみませんか？

日時 2020年11月22日(日) ※順延日:12月6日(日)

場所（競技エリア） 糸島市 深江海水浴場
福岡県糸島市二丈深江2129-5

参加料 無料 ※要招待状

当日スケジュール（※予定）

- 10:00 ～ 開会式
- 10:20 ～ 競技スタート
- 11:20 ～ 競技終了・計量
- 12:00 ～ 閉会式・表彰式
- 12:20 ～ 解散

募集要項

募集チーム数	20組100名程度(1チーム5名以内)
競技時間	60分
申込方法	お電話・FAX・RKBラジオホームページからお申込み下さい。
申込締切	11月9日(月)
注意事項	※応募者多数の場合は抽選となります。当選の発表は「招待状」の発送をもってかえさせて頂きます。 当日お持ち頂く「招待状」を開催日の1週間前までに到着するよう発送いたします。 落選された場合の連絡はございませんので、ご了承ください。 お申込者の情報は、本イベントのお申込み、「招待状」の郵送と参加者にかける保険についてのみ、利用させて頂きます。 ※小学生以下の参加については保護者(1名以上)との混合メンバーでの参加とさせて頂きます。 ※当日はスポーツに適した服装（ジャージ、スニーカーなど）でご参加ください。 ※荒天中止の場合は、当日の午前7時頃までにチーム代表者へ連絡いたします。

お問合せ・お申込み RKB スポGOMI事務局
☎092-852-6556（平日10:00～17:00） FAX：092-852-6577

RKBラジオホームページ 応募フォームはこちら→

【主 催】福岡県 / 【運 営】RKBミューズ・RKBラジオ / 【協 力】糸島市役所・一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブ

最後に

福岡県環境総合ビジョンの推進に当たっては、県民、事業者、行政などの各主体の連携が必要です。

皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。